

桜島スマートインターチェンジの整備効果について

令和3年3月13日に全方面開通しました桜島スマートインターチェンジの完成後の利用状況や整備効果についてお知らせします。

1 完成後の1日当たりの実績交通量

- 桜島スマートインターチェンジ（以下「スマートIC」という。）の供用開始後の令和4年1月から令和4年12月までの、1日当たりの実績交通量は「3,000台」。

2 利便性の向上

- 高速道路の利便性が向上し、スマートICと前後IC（始良IC、加治木IC）を含めた始良市内のICの実績交通量は、スマートIC整備前に比べて増加しており、高速道路の利用促進に寄与。
- スマートICができたことにより、利用するICが分散され、始良IC周辺の渋滞解消に繋がった。
- 【市民満足度調査】令和4年1月～2月にかけて市民3,000人を対象に実施した調査で、スマートICの整備を含む「道路の新設や改良」の項目は高評価を得た。

3 定住人口の増加の支援

- 桜島スマートICが最寄りICとなる帖佐第一地区（始良市松原町）の人口は、平成24年から令和4年にかけて54%（982人）増加。始良市全体の人口も増加を続けている。

4 企業誘致の支援

- 始良市の主要工業団地である平松物流用地（警察学校隣接地）では、交通利便性の良さから企業の進出が続き、令和4年に全10区画が完売。新たに造成を行い、令和5年5月に販売を開始した。
- （企業の声）鹿児島方面へ行く際には始良ICを、熊本・宮崎方面へ行く際には桜島スマートICを利用する。

5 救急搬送の支援

- 全ての救急搬送のうち、高速道路の利用は約20%（スマートICのみでは6%）。定時性の確保により、救命率向上に寄与。
- （救命士の声）一般道を走行する区間が短くなり、揺れ等による患者への負担軽減に繋がっている。

6 交流人口増加の支援

- スマートIC周辺の観光施設では観光客が増加し、観光振興に寄与。
- （職員の声）ビーラインスポーツパーク始良でイベントがある際、道順の案内がしやすくなった。

7 利用促進方策

- 始良市のHPや観光マップ、企業立地ガイド等を通じてPRを進め、市内外の皆様への認知度を高めることにより、更なる利用促進を目指す。